

灸道湖

第186号

2021年8月



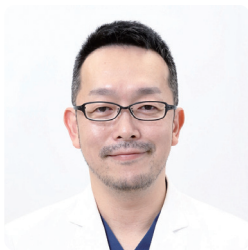
涼やかな夏の風景

1 階病棟で長期療養されている患者さんが作られた作品です。
樹脂ねんどを用いて、一つひとつ丹念に丁寧に作品を作られています。

もくじ

教育研修部コラム“ホンモノ”	2
病棟紹介	3
永年勤続者表彰	4～5
立体切り絵作家SouMaさんの 作品展を開催しました	6

2 階病棟プチ院内行事「初夏を楽しもう」	7
新人紹介	7
開業医紹介	8
地域医療連携室だより	9
外来診療表	10



～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

“ ホンモノ ”

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

コロナ禍中です。皆様いかがお過ごしでしょうか？

昨年の冬を前にした時期には「コロナとインフルエンザの同時流行」の懸念がありました。しかし蓋を開けてみると、インフルエンザの発生はほとんどありませんでした。これはウイルス干渉だと言われていきます。また両者の症状が似るために鑑別が困難となる問題も同時に懸念されていました。今コロナは重要な感染症としてターゲットにすべきですので、コロナ的症状を呈するインフルエンザをちゃんと鑑別して否定しなくてはなりません。このように前者をホンモノと定義するのであれば、ホンモノ的な要素を一部持つニセモノを否定することは重要です。

確かにホンモノを定義するのならば、そのホンモノに似たようなニセモノはわんさか存在することになります。ニセモノであることやホンモノであることの証明は時に難しく、時にそうでもなく。さらにそれぞれの“じゃない”ことの証明は意外と難しかったりします。ホンモノかニセモノかわからん、という判定保留しかできないこともあります。現場ではわからんことも往々にしてあるわけで、わからんことを放置するのではなくわからんからこそエポケー状態においていつか証明できるように努力を続ける姿勢は重要です。特に我々はそう。

てなことを考えていると、十数年前に職場の旅行でいった某隣国の有名な某市場での出来事を思い出しました…

「オニーサン、オニーサン！見て行って！ホンモノのニセモノあるよ！」

片言の日本語ですが、現地のおにいさんが何かを握りしめて大声張り上げて頑張っています。市場を歩く日本人観光客を店の奥に何とか誘導しようと必死でした。その必死さと“ホンモノのニセモノ”という不正確な日本語のアンバランス（いやしかし実際

のところはギリギリのラインで不謹慎ながらも的確な表現）が何ともおかしくて笑ってしまいました。おにいさんが握りしめて売ろうとしていたのはブランドものの時計の精巧なイミテーションでした。もちろん買いませんでしたが、旅の思い出として“ホンモノのニセモノ”というフレーズがしっかりと記憶に残りました。

“ホンモノのニセモノ”。実はこれ世の中に結構あるかもしれません。よく見ておかないとホンモノと勘違いしちゃう。気をつけて、それはハリボテかも。さて、その逆はどうか？ “ニセモノのホンモノ”… あぁこれも実はありそうですね。能ある鷹は爪を隠すっていう場合も含めて。あえてそうしてる場合もあれば、不幸にもそうなってることもあり。実はホンモノなのに本人も周りも気づいていないこともあり。あ、でも両者その逆の捉え方もありますね。日本語って難しいけど面白い！すみません、悪いクセで思いを巡らせて“そのウソホント？”的言葉遊びをしてしまいました。紙面の都合上この辺でやめときましょう。

前号のこのコラムでも述べたように“不合理な世の中でもキラリと光る”ように努力を続ける必要があります。“キラリと光る”ということは“ホンモノであること”とまあまあ同義でしょう。それには不断の努力が重要です。もちろんしんどい時には一休みすればいいのですが、こんな時こそ自分への投資です。特に新人さん！今が頑張りどころ。しんどいけどね。皆さんが“ホンモノ”になれるよう教育研修部はいつも応援しております。

最後に皆様へ。

このコラムが読まれる頃も私たちはまだ禍中にいます。

どうか心と体を大事にしてください。

1日も早く平安な日々が訪れますようお祈りして筆を擱きます。

外 来

外来は呼吸器内科、呼吸器外科、脳神経内科、小児科、循環器内科、麻酔科の6つの診療科で構成されています。主な業務内容は、診療の介助、採血、点滴、検査介助（消化管上部・下部内視鏡検査、胸腔穿刺、腰椎穿刺、COVID-19等）、救急搬送受け入れ、化学療法、入院や検査に関する説明などがあります。又、退院時サマリーのない患者に対して、退院連絡票を活用して継続する患者問題に焦点をあてたカンファレンスを実施する事や、病棟看護師や地域連携スタッフと退院後訪問を行い情報共有する事で継続看護の充実につなげています。



患者の安全を守り、安心して医療を受けることができるよう、他部門と連携を取り丁寧な対応を目指すとともに、今後も当院の呼吸器・神経筋難病の専門性を生かし地域の期待に応えることができるよう、スタッフ一同努力していきたいと考えます。

手術室・中央材料室

手術室では、気胸や肺がんを中心に、呼吸器外科の手術を年間約150件行っています。その中でも胸腔鏡下の手術は、数か所の小さい傷口で行えるため、患者さんにとってより負担の少ない手術として積極的に取り入れて行っています。患者さんにとって安心・安全な手術が行えるように、多職種でのカンファレンスや、看護師による手術前・手術後訪問を行い、体制を整えています。訪問の際に患者さんからいただいた貴重なご意見は、定期的に手術室スタッフで共有する機会を設けて、今後の手術室看護に活かしています。



手術室に隣接する中央材料室では、手術で使用する器械や、病棟で使用する医療用物品の洗浄・滅菌を行っています。ここでは直接患者さんと接する機会はないですが、患者さんに適切な物品・医療サービスを提供できるように心がけ、スタッフ皆で力を合わせて業務を行っています。

永年勤続者表彰



勤続
30年

企画課長 黒田 裕介

この度は永年勤続表彰をしていただき、誠にありがとうございます。

身に余る光栄に、ただただ感激するばかりです。これまで自分にできる事を日々淡々と行ってきた結果、31年という節目を迎えることができたのだと、感慨深い思いでいっぱいでございます。これもひとえに多くの上司・先輩の皆様、そして同僚や部下の皆さんに恵まれていたからこそ辿り着くことができたものと、深く感謝申し上げます。日頃からお力添え頂いております職場の皆様には感謝しても申しきれません。気持ちを引き締めて努めて参りますので引き続き宜しく願い申し上げます。本当にありがとうございました。



勤続
30年

外来看護師長 柳 浦京子

この度は永年勤続（30年）の表彰をいただき、ありがとうございました。

周りの方々に支えられ今日まで続ける事ができ、感謝しております。

大阪で就職し、親の勧めで地元に帰ってきたのですが、勤め始めは車の免許がなかったので電車とバスで通勤していた事や同期の顔が思い出されて、30年の月日の長さを実感しています。

年々顔なじみも少なくなり寂しい気持ちもいたしますが、外来で懐かしい方々とお会いする機会があり、こういう再会もあるのだと嬉しさを感じる日々です。

今後も健康に留意し、勤めていきたいと思っています。



勤続
30年

管理課長 桑本 貴幸

永年勤続30年表彰を担当課の長として迎えることができ、大変光栄です。

20年表彰をいただいたときにはまだ先は長いなと感じていましたが、あっという間に30年経過したという印象です。気持ち的には20歳の頃とそれほど変わっていませんが、昨年五十肩を発症してリハビリ通院したりと身体的には日々衰えを感じている状況です。周りの方に支えられてなんとかやって来ましたが、これからも健康に気を付けて病院の発展に貢献できるよう努めていきたいと思っています。



勤続
30年

看護部 2階病棟 看護師長 布施 道代

永年勤続の表彰をいただきありがとうございました。

この30年の間に私たちの制服は変わり、病院の建物も変わりました。ドキドキ・おどおどしながら先輩の後をついて歩くだけだった私も、たくさんの失敗を重ねながらも成長したのではないかと思います。看護師として働く時間にもゴールが見えてきました。歩んできた道とこれからの1日1日を大切に、患者さんご家族とともに歩んでいきたいと思っています。

勤続
20年



2階病棟 看護師
恩田 香

この度は永年勤続20年の表彰をしていただきありがとうございました。

これまで勤務を続けてこられたのは職員の皆さん、患者さん、そして家族の支えがあったからだと感謝しております。今後も感謝の気持ちを忘れず日々精進していきたいと思いますので引き続きよろしく願い致します。



勤続
20年



手術室
山田めぐみ

永年勤続20年表彰していただきありがとうございます。

当院の看護学校からお世話になり、振り返ればあっという間の20年でした。正直こんなに働くとは思っておらず、自分でもびっくりしています。

この度、病棟勤務から手術室勤務となり新人に戻ったような気持ちで日々業務に取り組んでいます。いろいろと覚えるのは大変な年齢になってきましたが、スタッフの皆さんに支えられながら今後も努力を重ねていこうと思います。



立体切り絵作家SouMaさんの 作品展を開催しました

療育指導室長 野津 悦子

2階病棟での展示の様子



1枚の紙をカッターなどで切り抜き、繊細な作品を生み出す立体切り絵作家SouMaさんの作品展を4月下旬に当院で開催しました。多くのテレビ出演や全国各地での個展の開催など、幅広く活躍されているSouMaさんの作品を当院で展示するのは平成29年に続いて2回目です。コロナ禍で面会や外出の制限などいろいろと制約のある入院生活を送っておられる患者さんに対して「何か励みになれば」とSouMaさんが発案してくださいました。

今回は、7点の作品を1日ずつではありますが、各病棟を巡回し、患者さんに鑑賞していただきました。どの作品も1枚の紙で作られているとは信じられないほど精密で、かつ、フレームから飛び出してきたような勢いを感じられました。患者さんからは、「ここで（SouMaさんの）作品を見られるなんて！」とか「いい薬になりました」などの言葉をいただきました。1日ずつではありまし

たが、ゆっくりと幻想的な作品にふれていただき、入院生活の中で潤いを感じてもらえる時間になったのではないかと思います。

SouMaさんも「命を吹き込んだ作品が活躍してくれているよう」と嬉しそうに話してくださいました。

まだしばらく続くと思われる、新型コロナウイルス流行による様々な制約のある生活ですが、一日も早く元のように戻ることを願いながら、患者さんも職員も一緒に頑張っていきましょう。

貴重な作品を提供してくださったSouMaさん、ありがとうございました。



今回、作品を提供してくださった
立体切り絵作家のSouMaさん



展示作品のひとつ「王冠」

2階病棟プチ院内行事

「初夏を楽しもう」

療育指導室 保育士 上岡 絵美



5月11日（火）と21日（金）にプチ院内行事①と②を実施しました。どちらの行事も「初夏を感じよう」をテーマに、まずは作業室のベランダに出て新緑を眺めたり、風を感じたりしました。外気を感じた後は療育訓練室へ移動し、療育で利用者さんと一緒に制作した藤の花の下で、初夏の生き物の鳴き声クイズを行いました。

この時期に外でよく聞こえてくる「野鳥」と「カエル」の様々な鳴き声を聞いて、利用者さんと職員がペアとなってクイズに答えていきます。ツバメ、ホトトギス、アオガエル、ウシガエル…など、生き物たちの鳴き

声はどれも個性的で面白い！地響きのような迫力のあるカエルの鳴き声や弦楽器のような鳥の鳴き声など、皆さんが様々な生き物の声に耳を澄ませておられました。「ツバメってこんな鳴き声だったっけ！」「ウシガエルって本当にモォモォ鳴くんだね」など発見や驚きがあり、利用者さんも笑顔が見られる場面がありました。

その後、新緑をイメージした黄緑色の布を利用者さんの頭上でヒラヒラさせて、動きや風を感じました。柔らかく透き通ったオーガンジー素材の布が風になびく様子はゆったりとしていて爽やかでした。

山陰地方は早くも梅雨入りしましたが、梅雨の合間に初夏の風や新緑、生き物の声を受け止めて、四季の移ろいを感じていただけたかなと思います。



新 人 紹 介

4階西病棟看護師 藤岡 千里

私は令和3年4月より松江医療センターに入職し、4階西病棟で看護師として働いています。4階西病棟は肺がんや呼吸器疾患の術後、終末期、入退院をくり返されている患者さんが入院されています。様々な病期にある患者さんがその人らしい生活を送れるよう家族を含め、希望にできるだけ添ったサポートをすることが大切です。このようなサポートをするため、病棟では患者さんや家族の方の思いを引き出すことや、多職種と連携し、必要なケアやサービスは何か話し合ったり、日々それぞれの患者さんのゴールを考え関わることを心がけています。

働き出して3ヵ月が経ちます。実際に患者さんと関わる日々の中で、知識不足や慣れないことばかりで焦りや不安がありますが、先輩方が日々指導してくださり、学びを深めながら働くことができています。これから日々学び、多くの経験を積んで、患者さんの心に寄り添った看護が提供できるよう努めていきます。



開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.33

医療法人 川本医院
川本 浩雄 先生



雲南市で内科、循環器科、小児科を標榜し開業しております川本浩雄です。

昭和62年に父の家業を継承してから34年が経過し、今では私も継承を考える立場になってまいりました。



当院の研修犬で唯一の後継候補

内科にとって呼吸器疾患はコモンディジーズですが、圏域内には呼吸器科がありません。

したがって、松江医療センターとのかかわりは入院が必要な呼吸器疾患の患者さんの紹介が主でした。

紹介した中で、今まで私が経験したアンコモンな症例では、血痰が主訴のANCA関連血管炎、気胸を繰り返したリンパ脈管筋腫症の症例などが印象に残っています。

最近までは、大学の医局で同門だった先生が松江医療センターの管理職の立場で赴任されていました。緊急に入院が必要と考えた患者さんはホットラインのように、電話一本で頼ませてもらいました。今から考えますとご多用中に電話し、ずいぶんご迷惑をおかけしたものと反省しております。最近は正規のルートで紹介しておりますので、神経疾患も含め今後ともよろしく願いいたします。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○		
16:00~18:00	○	○	○		○			

休診日：日曜、祝日、盆（8/13~15）
年末年始（12/31~1/3）



〒699-1332 島根県雲南市木次町木次15番地
☎ 0854-42-0205

地域医療連携室だより 第43号

2021年7月

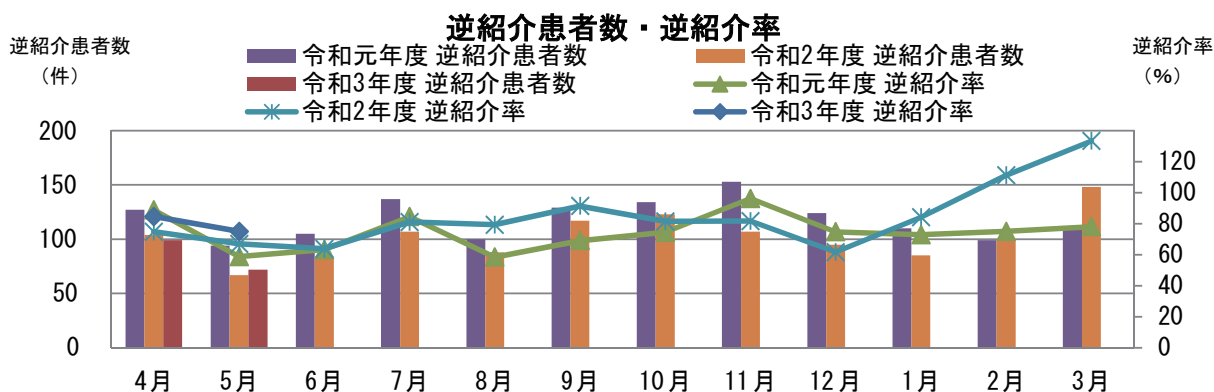
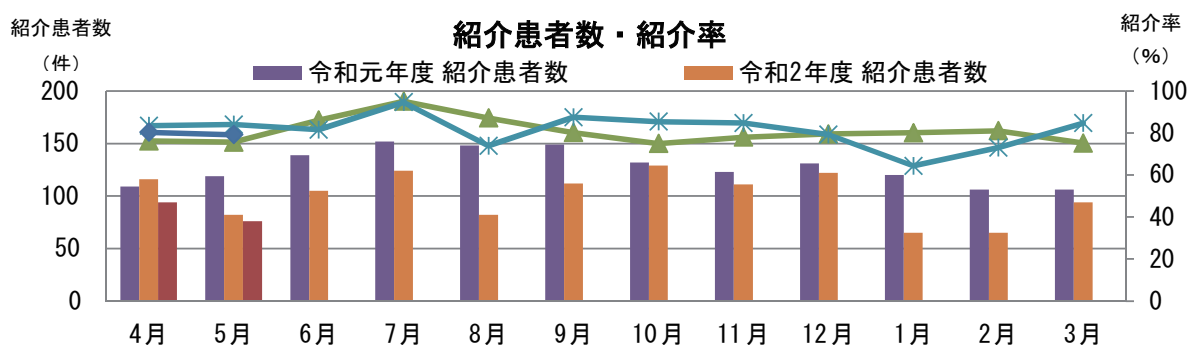


【時間外の対応について】

呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまにつきましては
24時間対応させていただいておりますので夜間・休日に関わらず
下記にご連絡ください。

☎0852-21-6131（代表）または 0852-24-7671（地連）

1. 紹介患者数・紹介率 / 逆紹介患者数・逆紹介率の推移



2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています

年 月	R2 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R3 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
退院支援患者	252	134	177	179	156	165	176	169	166	131	131	162	173	128
退 在宅	103	58	75	95	78	83	108	93	110	74	70	81	109	81
院 施設	0	1	0	1	3	3	1	4	3	1	1	0	3	4
先 病院	9	6	2	4	3	5	11	4	2	2	3	3	7	9

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させていただいた患者さんの割合です
逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数(休日・夜間の救急患者を除く)



外 来 診 療 表

お気軽にご相談下さい

令和3年4月22日現在

診療科	曜	月	火	水	木	金	専 門 領 域
呼吸器内科	岩 本(初)	西 川(初)	木 村(初)	門 脇(初)	池 田(初)	【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介	【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
	西 川	小 林	岩 本		木 村		
	井 岸	門 脇	池 田	坪 内	小 林		
循環器内科						生 馬	
脳 神 経 内 科	中 島 (完全予約制)	古 和	深 田	足 立	交替制		【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般
	中 野	下 山		細 田			【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 中野 俊也 細田 義人 下山 良二 深田 育代
呼吸器外科	荒 木		目 次		荒 木		【名誉院長】脳神経内科 (完全予約制) 【副院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
小 児 科	発 達 専門外来	久保田 (予約)	齋 田 (予約)	齋 田 松 村 (予約)	久保田 (予約)	齋 田 (予約)	
	予防接種		(予約)				
麻 酔 科	腰痛外来			西 村 (予約)			【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之
特 殊 外 来	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
	睡眠時無 呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉
外 来	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
	喘息 アレルギー外来					池 田 (予約)	
外 来	咳嗽外来					池 田 (予約)	
	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		
来	アスベスト 外来		(予約)	(予約)	(予約)		
	もの忘れ外来			深 田			
その他	セカンド オピニオン外来	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)	

診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30
自動再来受付 8:00~11:30

独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター
呼吸器病センター

〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
電話 (0852) 21-6131(代)
医療連携室直通電話 (0852) 24-7671
医療連携室 F A X (0852) 24-7661



特 殊 外 来	肺 がん 検 診	診 療 日：毎週月～金曜日 15：00～17：00（要予約） 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	診 療 日：毎週木曜日 14：00～16：00（要予約） 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息 切 れ 外 来	診 療 日：毎週火曜日 13：00～15：00（要予約） 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘 息 アレルギー外来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢 性 咳 嗽 外 来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
	禁 煙 外 来	診 療 日：毎週木曜日 10：00～12：00（要予約） 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診 療 日：毎週火・水・木曜日 8：30～11：00（要予約） 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神 経 難 病 外 来	診 療 日：毎週火・木曜日 9：00～12：00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小 児 科 発 達 専 門 外 来	診 療 日：毎週月～金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
来	腰 痛 外 来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。
	セ カ ン ド オピニオン外来	診 療 日：（完全予約制）紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・脳神経内科・小児科（筋ジス）の専門医（医長）が担当いたします。